

# 平成 29 年度 産業文化部 「実行宣言」

産業文化部長 村林 篤

## 『松阪市総合計画～住みやすさ進行中！バージョンアップ松阪～』の担当政策

- 3 活力ある産業（産業振興）
- 4 人と地域の頑張る力（地域づくり）
- 5 安全・安心な生活（防犯・防災）
- 6 快適な生活（生活基盤の整備）
- 7 市民のための市役所（行政経営）

### 基本方針

産業文化部は、雇用対策、商工観光、企業誘致連携、交通政策、農林水産の振興、ブランドの推進と市内における産業全般の振興に取り組み、産業政策の活性化により地域経済の発展をめざします。また、新たに文化課を所管し、文化と観光を連携させた「地域づくり・まちづくり」を進めていきます。

本年度は特に、

- ①戦略的な企業誘致・連携を促進し、地域の雇用確保と活性化を図り、商業環境の充実や中小企業・小規模事業者の事業力向上の支援を行います。貴重な歴史文化資源を活かした外国人を含む観光客誘客のための取組を強化し、観光客受入のための施設の整備や組織づくりに努めます。
  - ②豊富な地域資源を活かすため、安定した生産・供給体制の整備に取り組み、持続可能な経営の確立をめざします。国や地域の動向を的確にとらえた対策に努めます。
  - ③競輪ファンに愛される競輪場をめざしながら、基本である車券の売り上げ増を目的とし競輪事業が経常的に黒字化となり、一般財源への繰り入れが安定的に行えるように努めます。
- などに取り組んでいきます。

### 実行宣言

- ①松阪の“にぎわい”を取り戻します！（商工政策課）
- ②選ばれる観光地“松阪”をめざします！（観光交流課）
- ③企業誘致連携により地域の雇用確保・活性化をめざします！（企業誘致連携課）
- ④地域ブランドを全国に発信します！（地域ブランド課）
- ⑤農業者・漁業者への支援を全力で行います！（農水振興課）
- ⑥計画的な農業基盤整備により効率的な農業経営をめざします！（農村整備課）
- ⑦計画的な森林整備と森林資源の活用を図ります！（林業振興課）
- ⑧市史跡「松浦武四郎誕生地」の保存整備を進め、生誕 200 年を迎える松浦武四郎の偉業を全国に向けて発信します！（文化課）
- ⑨市の自主財源を確保します！（競輪事業課）

## 期首宣言シート

### マネジメント方針

- ・ 部内における情報共有を図るため、本庁外も含めた部課長ミーティングを週 1 回開催します。
- ・ 部の取組を市民に伝えるため、HP やソーシャルメディアを活用し情報発信をします。
- ・ 関係団体と目的達成への情報共有の強化を図ります。
- ・ 部の総時間外勤務時間を前年より 2 %削減します。

組織マネジメントシート

宣言①	松阪の“にぎわい”を取り戻します！		
担当	商工政策課		
『総合計画』の施策との関わり	<b>3-⑤ 商工業の振興</b> <b>3-⑨ 雇用・勤労者福祉の充実</b> <b>5-② 消費者対策の充実</b> <b>6-③ 地域公共交通の充実</b>		
組織紹介	<p>松阪市では、若い世代の人口流出が増加しており、その解決策のひとつとして働く場の確保が挙げられます。</p> <p>市民の皆様が生涯を通じ安全・安心で快適な生活を実現するための土台を築くため、商工政策課においては、商業環境の充実や中小企業・小規模事業者の事業力向上支援による地域経済の活性化、雇用機会の創出と安定、勤労者福祉の向上、安心安全な消費生活環境の整備、市民生活に密着した地域公共交通の確保・維持に取り組んでいます。</p>		

本年度事業の活動指標と達成目標					期末記入欄	
No.	事業名	活動指標	目標	関係施策	実績	評価
1	商店街交通量調査事業費	調査結果の提供件数	14 件	3-⑤	—	—
2	小規模事業資金保証料補給金	広報誌等による周知回数	2 回	3-⑤	—	—
3	松阪市中心商店街活性化促進協議会補助金	商店街と連携する団体等の増	2 団体	3-⑤	—	—
4	商店街活性化総合事業費補助金	イベント等による来街者数の増加率 (対平成 27 年度比)	10%	3-⑤	—	—
5	商工団体補助金	各団体の会員数の増加率 (対平成 27 年度比)	1%	3-⑤	—	—
6	ものづくり技能者育成支援事業費	参加定員に対する参加率	100%	3-⑤	—	—
7	商店街空き店舗等出店促進補助事業費	補助金交付件数	2 件	3-⑤	—	—
8	まちなか開業塾開催事業費	開業塾、フォローアップ研修への参加者数	50 人	3-⑤	—	—
9	豪商のまち店舗改装支援事業費	補助申請件数	25 件	3-⑤	—	—
10	創業・再挑戦アシスト資金保証料補給金	創業・再挑戦アシスト資金融資制度利用件数	40 件	3-⑤	—	—
11	豪商のまち松阪起業家支援事業費	支援件数	200 件	3-⑤	—	—
12	産業支援センター運営事業費	相談件数	200 件	3-⑤	—	—
13	商工振興一般経費	予算執行額の削減率 (対平成 28 年度比)	2%	3-⑤	—	—
14	産業振興センター管理運営事業費	①本館年間利用率 ②別館年間利用率	①30% ②40%	3-⑤	—	—
15	産業振興センター施設整備事業費					
16	勤労者総合福祉推進事業費補助金	補助団体登録会員数の増加率 (対平成 27 年度比)	1%	3-⑨	—	—
17	勤労青少年激励大会補助金	大会参加者の増加数 (対平成 27 年度比)	10 人	3-⑨	—	—

**組織マネジメントシート**

18	勤労者地域づくり活性化事業費補助金	行事等参加者数の増加率（対平成 27 年度比）	1%	3-⑨	—	—
19	労働者福祉推進事業費補助金					
20	勤労者生活資金貸付金	協調融資枠の活用率	100%	3-⑨	—	—
21	高年齢者就業機会確保事業費補助金	補助団体登録会員数の増加率（対平成 27 年度比）	1%	3-⑨	—	—
22	障がい者雇用促進事業費	障がい者雇用・就労促進フォーラム参加者数	100 人	3-⑨	—	—
23	潜在専門職トレーニングプロジェクト事業費	1 職種当たりの支援プログラム参加者数	10 人	3-⑨	—	—
24	労働一般経費	職業相談員による職業相談件数	100 件	3-⑨	—	—
25	ワークセンター松阪管理運営事業費	ワークセンター松阪利用者数	12 万人	3-⑨	—	—
26	企業内人権啓発事業費	人権啓発冊子等の配布事業所数（雇用保険被保険者数 30 人以上事業所すべて）	250 社	—	—	—
27	消費生活関連事業費	消費生活出前講座開催回数	24 回	5-②	—	—
28	商工一般経費	予算執行額の削減率（対平成 28 年度比）	2%	—	—	—
29	地域公共交通システム事業費	コミュニティバス年間利用者数	187,000 人	6-③	—	—
30	交通施設バリアフリー化設備整備補助金	補助金交付件数	1 件	6-③	—	—
31	伊勢鉄道基盤強化等対策事業負担金	伊勢鉄道経営改善会議への参加	2 回	6-③	—	—
32	海上アクセス旅客ターミナル管理事業費	ターミナル解体作業の進捗	100%	6-③	—	—
33	海上アクセス旅客ターミナル解体事業費					
評価基準…A（90%以上）、B（70~89%）、C（50~69%）、D（30~49%）、E（29%以下）						
評価理由（期末記入欄）						
*****						
*****						

**組織マネジメントシート**

その他の取組について	
取組名称	期末評価
「三重労働局との雇用対策協定」に基づき実施する各種雇用対策の実施（「就労の広場」における職業相談・就職支援、地元事業所の人材確保・企業誘致に対する支援など）	—
松阪地域雇用対策協議会との連携による各種雇用対策の実施（障がい者就職面接会、地元高校生の地元就職への支援事業、若年無業者自立支援事業など）	—
セーフティネット保証制度の認定事務の実施 （取引先等の再生手続等の申請や事業活動の制限、災害、取引金融機関の破綻等により経営の安定に支障を生じている中小企業者について、保証限度額の別枠化等を行う制度）	—
地域間幹線であるにもかかわらず、利用者が減少し続ける「松阪大石線」の利用促進策の検討	—
より良いコミュニティ交通をめざすため、路線ごとに設置する運行協議会の開催などにより、コミュニティ交通に対する地域住民や利用者の現状とニーズの把握に努める。	—
企業及び地域住民のコミュニティ交通の運行に対する理解を深めるとともに、運行経費の財源の一部を確保するため、企業協賛金や地域協賛金の取組を行う。	—
評価基準…A（90%以上）、B（70~89%）、C（50~69%）、D（30~49%）、E（29%以下）	
評価理由（期末記入欄）	
*****	
*****	

組織マネジメントシート

宣言②	選ばれる観光地“松阪”をめざします！
担当	観光交流課
『総合計画』の施策との関わり	3-⑦ 観光・交流の振興
組織紹介	<p>観光交流課は、少子高齢化や人口減少などに伴い地域経済の縮小が懸念される中で、観光客などに代表される交流人口の増加を図ることで、地域経済の発展に資するため、観光 PR や受け入れ環境の整備を行うとともに、国内外の都市間でのヒト・モノ・情報の交流促進を推進しています。</p> <p>近年では、国の地方創生施策のひとつとして外国人観光客の誘客が据えられるなど、交流人口の増加は地域活性化の柱に位置付けられてきていますが、本市はまだ期待する水準まで至っていないとは言えません。</p> <p>特に、外国人観光客の誘客など新たな課題に対応していくため、インバウンドへの取組を強化するとともに、観光客受入態勢整備のために、観光交流拠点施設整備などを進めています。</p> <p>また、これら交流人口の増加をめざす取組とともに、地域経済への波及効果を高める取組として、民間事業者や近隣地域との協働を進めていくことはもちろん、さらにはゆかりある地域との交流についても民間レベルへと深化させていきます。</p>

本年度事業の活動指標と達成目標					期末記入欄	
No.	事業名	活動指標	目標	関係施策	実績	評価
1	国際交流事業団体補助金	国際化フォーラムを開催し、活動報告会を実施した団体	5 団体	—	—	—
2	国際交流員 (CIR) 事業費	CIR が実施する派遣事業及びイベントの実施回数	72 回	—	—	—
3	地域国際化推進事業費	松阪市地域国際化推進会議 開催回数	2 回	—	—	—
4	友好都市交流事業費	相互交流の事業数	2 回	3-⑦	—	—
5	観光客誘致事業費	観光パンフレット作成・配布部数	80,000 部	3-⑦	—	—
6	観光協会運営費補助金	補助金充当により雇用されている職員数	4 人	—	—	—
7	観光協会事業費補助金	補助金充当により実施される事業数	14 件	—	—	—
8	都市間交流事業費	観光 PR イベント等参加回数	25 事業	3-⑦	—	—
9	インバウンドプロモーション事業費	おもてなし力向上勉強会延参加者数	50 人	3-⑦	—	—
10	豪商のまち松阪プロモーション事業費	観光パンフレット作成・配布部数	30,000 部	3-⑦	—	—
11	リバーサイド茶倉施設管理事業費	営業日数	308 日	—	—	—
12	観光施設管理運営事業費	維持管理施設数	32 施設	3-⑦	—	—
13	観光情報センター管理運営事業費	開館日数	361 日	—	—	—
14	飯高グリーンライフ山林舎施設管理事業費	営業日数	365 日	—	—	—
15	飯高森林とのふれあい環境整備施設管理事業費	営業日数	365 日	—	—	—
16	飯高奥香肌峡林間キャンプ場施設管理事業費	施設廃止 (移譲) に向けた作業進捗率	100%	—	—	—

**組織マネジメントシート**

17	飯高ホテルスモール関連 施設管理事業費	営業日数	365日	—	—	—
18	飯高ホテルスモール関連 施設整備事業費					
19	魅力ある観光地づくり支 援事業費	小規模観光案内施設委託数	4施設	3-⑦	—	—
20	指定管理者選定委員会事業費	審査選定委員会 開催回数	年2回	—	—	—
21	飯高総合案内施設管理事業費	営業日数	324日	3-⑦	—	—
22	飯高総合案内施設整備事業費					
23	観光交流拠点施設等整備 事業費	新築工事進捗率 ※平成29年度着工。平成30年度竣工、 平成31年度オープン予定。	40.0%	3-⑦	—	—
24	定住自立圏観光連携事業費	観光客誘致PRイベントの共同開催回数	3回	3-⑦	—	—
25	観光振興ビジョン策定委 員会事業費	ビジョン策定委員会開催回数	5回	—	—	—
26	観光一般経費	削減率（平成28年度予算対比）	1.0%	—		
評価基準…A（90%以上）、B（70~89%）、C（50~69%）、D（30~49%）、E（29%以下）						
評価理由（期末記入欄）						
*****						
*****						

その他の取組について	
取組名称	期末評価
マスメディアの活用を通じた情報発信を行います。	—
民間事業者の代表ともいえる観光協会との定期的な協議を実施し、官民連携での誘客をめざします。	—
鉄道事業者など民間事業者とともに組織する「豪商のまちプロモーション実行委員会」の取組を進め、観光スポットとしての定番化をめざします。	—
ゆかりのある地域との民間レベルでの交流の活性化をめざし、関連団体の取組を支援します。	—
評価基準…A（90%以上）、B（70~89%）、C（50~69%）、D（30~49%）、E（29%以下）	
評価理由（期末記入欄）	
*****	
*****	

**組織マネジメントシート**

<b>宣言③</b>	<b>企業誘致連携により地域の雇用確保・活性化をめざします！</b>
<b>担当</b>	<b>企業誘致連携課</b>
<b>『総合計画』の施策との関わり</b>	<b>3-⑥ 企業誘致・連携の推進</b>
<b>組織紹介</b>	<p>企業誘致連携課は、航空宇宙産業、ヘルスケア産業など今後成長が期待される産業や先端技術関連産業の企業誘致・連携を促進し、景気変動を受けにくい、強じんて多様な産業構造を構築し、地域の雇用確保、活性化をめざしています。</p> <p>昨年度は、外資系企業の松阪市進出が決定するなど企業立地の成果が上がり、今後、相当数の雇用と税収が見込まれます。また市内事業者と企業、専門学校との連携にも取り組み、実際に取引が完了した案件も成果として生まれてきています。</p> <p>平成 29 年度は、引き続き戦略的に企業誘致を進めていくとともに、都市圏との企業誘致のネットワークを拡充するなど企業動向の情報収集を図り、受け皿としての産業用適地の調査に取り組んでいきます。また、市内中小企業の経営力向上を図るため、企業現場に即したきめ細かな支援を行っていきます。特に、市内中小企業 1 社に寄り添い、新たな製品の試作から実証、販路開拓まで、切れ目なくヒト、モノまた機会などを伴走支援し、企業経営力の向上をめざします。</p>

本年度事業の活動指標と達成目標					期末記入欄	
No.	事業名	活動指標	目標	関係施策	実績	評価
1	企業誘致推進事業費	企業等訪問延べ件数	200 社	3-⑥	—	—
2	企業立地促進奨励金					
3	地域資源活用企業立地促進奨励金					
4	産業経済人交流事業費	交流会参加者数	120 人	3-⑥	—	—
5	企業連携推進事業費	企業等訪問延べ件数	200 社	3-⑥	—	—
6	中小企業伴走型支援事業費	中小企業伴走型支援事業対象企業	1 社	3-⑥	—	—
7	中小企業伴走型事業補助金	中小企業伴走型事業補助金交付企業	1 社	3-⑥	—	—
8	中小企業販路拡大支援補助金	中小企業販路開拓支援補助金交付企業	5 社	3-⑥	—	—
評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)						
評価理由 (期末記入欄)						
*****						
*****						

その他の取組について	
取組名称	期末評価
松阪地域産業活性化基本計画の策定	—
評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)	
評価理由 (期末記入欄)	
*****	
*****	



**組織マネジメントシート**

<b>宣言④</b>	<b>地域ブランドを全国に発信します！</b>	
<b>担当</b>	地域ブランド課	
<b>『総合計画』の施策との関わり</b>	<b>3-⑧ 地域ブランドの振興</b> <b>7-③ 健全な財政運営</b>	
<b>組織紹介</b>	<p>地域ブランド課は、松阪市で生まれた特産品の魅力を松阪ブランドとして広く周知し、普及・販売を促進することで地域振興につなげます。</p> <p>昨年度は、ふるさと納税制度において、「松阪牛」振興、「松阪路」整備、「文化遺産」保存・継承などへの応援として、1億2千万円余りの寄附金をお寄せいただきました。また、返礼品として地域産品51品をラインアップし、地域ブランドのPR・振興につなげました。</p> <p>地域ブランドである松阪赤菜・松阪茶・松阪木綿については、大消費地である首都圏での販路拡大を図りました。</p> <p>今年度は、ふるさと納税について、返礼品の拡充等を図り、さらなる応援寄附金の拡充に努めます。</p> <p>また、松阪赤菜などの地域ブランドの販路確立をはじめ、ブランド大使やちゃちゃもによる松阪ブランドのPRを展開します。</p>	

本年度事業の活動指標と達成目標					期末記入欄	
No.	事業名	活動指標	目標	関係施策	実績	評価
1	ふるさと特産品 PR 事業費	応援寄附金額	3億円	3-⑧	—	—
2	地域特産品ブランド戦略事業費	松阪ブランドの販路確立	3か所	3-⑧	—	—
3	松阪ブランド推進事業費	松阪ブランド PR 活動回数	10回	3-⑧	—	—
4	ブランド大使・マスコットキャラクター活用事業費	ブランド大使・ちゃちゃもによる PR 回数	10回	3-⑧	—	—
5	ブランド推進一般経費	燃料消費量	3%減	—	—	—
評価基準…A (90%以上) 、 B (70~89%) 、 C (50~69%) 、 D (30~49%) 、 E (29%以下)						
評価理由 (期末記入欄)						
*****						
*****						

その他の取組について	
取組名称	期末評価
—	—
評価基準…A (90%以上) 、 B (70~89%) 、 C (50~69%) 、 D (30~49%) 、 E (29%以下)	
評価理由 (期末記入欄)	
*****	
*****	

組織マネジメントシート

宣言⑤	農業者・漁業者への支援を全力で行います！		
担当	農水振興課		
『総合計画』の施策との関わり	3-① 農業の振興 3-② 松阪牛の振興 3-④ 水産業の振興		
組織紹介	<p>農水振興課は、5つの係により豊富な地域資源や恵まれた自然・環境を生かした農業・水産業の支援を行っています。農業及び水産業は、自然環境に左右されやすく、また競合する他地域との競争などの厳しい環境にさらされています。</p> <p>農業・漁業従事者の高齢化等による担い手不足、資源不足などの課題に対応し、地域の実情に応じた農業や水産業経営の安定化に取り組んでいます。</p> <p>平成29年度は、総合計画に掲げる10年後のめざす姿である「耕作面積の維持100%」、「松阪牛の世界No.1ブランド」「漁業経営体数の維持100%」を実現するために、市が担うべき事業を見直す中で、地域の宝を未来に引き継ぐための道筋をつけていきます。</p>		

本年度事業の活動指標と達成目標					期末記入欄	
No.	事業名	活動指標	目標	関係施策	実績	評価
1	農業後継者対策補助金	「松阪市農村青少年協議会」会員数の増	2名	3-①	—	—
2	特産振興補助金	「JA生産者部会」新規会員数	2名	3-①	—	—
3	茶防霜施設設置補助金	設置後30年以上経過した防霜ファンの改修基数	5基	3-①	—	—
4	茶業組合補助金	松阪茶のPRイベント及び品評会への品質向上について、茶業組合との会議開催回数	5回	3-①	—	—
5	松阪肉牛協会補助金	松阪肉牛協会と生産者との意見交換会の開催回数	1回	3-②	—	—
6	松阪肉牛共進会出品奨励事業補助金	共進会本選出場牛の頭数	50頭	3-②	—	—
7	特産松阪牛出荷奨励事業補助金	特産松阪牛出荷頭数	60頭	3-②	—	—
8	松阪牛PR推進事業費	松阪牛関係団体との意見交換会の開催回数	2回	3-②	—	—
9	松阪食肉公社の安全安心対策支援事業負担金	「公社のあり方」について、三重県、関係市町との協議回数	1回	3-②	—	—
10	松阪牛まつり事業費	来場者数	35,000人	3-②	—	—
11	特産松阪牛素牛導入促進事業補助金	導入頭数	60頭	3-②	—	—
12	特産松阪牛緊急支援補助金	導入頭数	60頭	3-②	—	—
13	経営所得安定対策直接支払推進事業費	生産調整の達成率	100%	3-①	—	—
14	茶防霜ファン改修事業費	老朽化した防霜ファンの改修基数	18基	3-①	—	—
15	松阪茶PR推進事業費	松阪茶グランプリの参加者数	98人	3-①	—	—
16	アライグマ対策事業費	鳥獣による農作物被害額	12,266千円	3-①	—	—

**組織マネジメントシート**

17	農業経営力向上支援補助金	集落営農の組織化及び法人化数	2 組織	3-①	—	—
18	水田活用推進対策補助金	人・農地プラン作成集落数	8 集落	3-①	—	—
19	中山間地域水田活用推進対策補助金	作物作付・奨励作物面積	3,440a	3-①	—	—
20	環境保全型農業直接支払交付金	事業活用者の増加のための検討会議開催回数	2 回	3-①	—	—
21	農業経営基盤強化促進事業費	対前年度比予算削減率	3%	3-①	—	—
22	中山間地域等直接支払交付金	本事業への新規加入集落数	1 集落	3-①	—	—
23	農業経営基盤強化資金等利子補給促進補助金	本事業の新規活用件数	3 件	3-①	—	—
24	新規就農者総合支援補助金	青年新規就農者の増員数	1 人	3-①	—	—
25	機構集積協力補助金	農地中間管理機構を活用した集積面積	38ha	3-①	—	—
26	ベルファーム施設管理事業費	指定管理者との定期的な協議回数	月 1 回	3-①	—	—
27	ベルファーム施設整備事業費	指定管理者との定期的な協議回数	月 1 回	3-①	—	—
28	多目的研修集会施設管理事業費	「利用者アンケート」の回答率	50%	3-①	—	—
29	飯南茶業伝承館管理事業費	指定管理者との協議回数	5 回	3-①	—	—
30	飯高産業振興センター管理事業費	生産者グループ合同での商品開発研究会の開催回数	1 回	3-①	—	—
31	がんばる認定農業者等支援補助金	地域の中心経営体に対する支援数	6 経営体	3-①	—	—
32	飯南和紙和牛センター管理運営事業費	紙すき体験者数の増	5%	3-①	—	—
33	飯高地域資源活用交流施設管理事業費	施設の入込客数	392,800 人	3-①	—	—
34	飯高地域資源活用交流施設整備事業費					
35	和牛サミット事業費	実行委員会、三重県等との定期的な協議回数	月 1 回	3-②	—	—
36	指定管理者選定委員会事業費	指定管理者選定委員会の開催回数	2 回	3-①	—	—
37	農業総務一般経費	対前年度比予算削減率	3%	—	—	—
38	農業振興一般経費					
39	畜産振興一般経費					
40	農山村振興一般経費	事務経費削減の取組協議回数	月 1 回	—	—	—
41	有害鳥獣対策事業費	鳥獣による農作物被害額	12,266 千円	3-①	—	—
42	有害鳥獣捕獲補助金	捕獲依頼及び許可申請を受けてから、現地確認・許可書の交付までの期間	1 週間	3-①	—	—
43	有害鳥獣防護柵設置補助金	防護柵の設置面積	5%増	3-①	—	—

<b>組織マネジメントシート</b>						
--------------------	--	--	--	--	--	--

44	稚鮎等放流事業補助金	目標増殖量の達成率	100%	3-④	—	—
45	川鶺対策事業補助金	各内水面漁協が掲げる川鶺捕獲(100羽)の達成度	100%	3-④	—	—
46	水産資源増殖事業費	放流種苗量	15万尾	3-④	—	—
47	アサリ資源増殖事業補助金	アサリ漁獲量	100t	3-④	—	—
48	水産物消費拡大推進事業費補助金	漁業まつりへの出店数	16店	3-④	—	—
49	水産業総務一般経費	協議会開催の活動への参加回数	3回	—	—	—
50	漁港海岸施設管理事業費	施設の点検回数	年1回	3-④	—	—
51	漁港機能保全事業費	保全事業の進捗率	80%	3-④	—	—
評価基準…A (90%以上) 、 B (70~89%) 、 C (50~69%) 、 D (30~49%) 、 E (29%以下)						
<b>評価理由 (期末記入欄)</b>						
*****						
*****						

<b>その他の取組について</b>		
<b>取組名称</b>	<b>期末評価</b>	
	—	
評価基準…A (90%以上) 、 B (70~89%) 、 C (50~69%) 、 D (30~49%) 、 E (29%以下)		
<b>評価理由 (期末記入欄)</b>		
*****		
*****		

組織マネジメントシート

宣言⑥	計画的な農業基盤整備により効率的な農業経営をめざします！	
担当	農村整備課	
『総合計画』の施策との関わり	3-① 農業の振興	
組織紹介	<p>農村整備課は、2係1担当で構成し、農業者とともに、自然環境に配慮しながら農業生産に必要な土地や水資源を確保し、生産性の向上を通じて農業の体質強化を図るとともに、美しい自然環境や農村景観を保全し、農村に居住する人が災害の心配をせず、快適な生活環境を享受できるように、農業基盤整備事業を行っています。</p> <p>平成29年度は、総合計画に掲げる10年後のめざす姿である「耕作面積の維持100%」を実現するため、地域の宝を未来に引き継ぐための道筋をつけていきます。</p>	

本年度事業の活動指標と達成目標					期末記入欄	
No.	事業名	活動指標	目標	関係施策	実績	評価
1	市単土地改良事業	各連合自治会の要望箇所の現地調査	各地区1回	3-①	—	—
2	公共事業等附帯事業費	市道認定の基準を満たすため、担当課と調整	1回	3-①	—	—
3	三雲農業集落排水管理事業費	上下水道部と公共下水道供用開始地域の接続状況の確認等の協議	1回	3-①	—	—
4	三雲農業集落排水施設整備事業費	改修に伴う施設の廃止	1か所	3-①	—	—
5	小規模土地改良事業補助金	水利施設の事故に伴う修繕費用の一部負担	100%	3-①	—	—
6	多面的機能支払交付金事業費	本事業への新規加入組織数	3組織	3-①	—	—
7	地域農業水利施設ストックマネジメント事業費	受益者との調整	1回	3-①	—	—
8	県営ため池等整備事業負担金	地元と県との調整	1回	3-①	—	—
9	県営特定農業用管水路等特別対策事業負担金	土地改良区と県との調整	1回	3-①	—	—
10	県営ほ場整備事業土地改良区補助金	土地改良区と県との調整	1回	3-①	—	—
11	県営経営体育成基盤整備事業負担金	土地改良区と県との調整	1回	3-①	—	—
12	湛水防除施設管理事業費	出水期における指導・援助の実施	週1回	3-①	—	—
13	土地改良施設維持管理適正化事業費(湛水防除費)	整備補修を行う機場数	2機場	3-①	—	—
14	基幹水利施設技術管理強化特別指導事業費	出水期における指導・援助の実施	月1回	3-①	—	—
15	湛水防除施設整備事業費	機能保全計画に基づく機械・電気設備の補修・更新機場数	1機場	3-①	—	—
16	土地改良施設維持管理適正化事業補助金(農地費)	土地改良区と三重県土地改良事業団体連合会との調整	1回	3-①	—	—
17	県営基幹水利施設ストックマネジメント計画事業費(農地費)	改良区との調整	1回	3-①	—	—
18	県営基幹水利施設ストックマネジメント事業負担金(湛水防除)	県との協議回数	1回	3-①	—	—

**組織マネジメントシート**

19	農業基盤整備促進事業費	受益者との調整	1回	3-①	—	—
20	農地一般経費	県、三重県土地改良事業団体連合会、土地改良区、地元との協議	週1回	—	—	—
21	農業集落排水事業特別会計操出金	農業集落排水処理施設使用料の収入率	98%	3-①	—	—
22	(農集)一般管理経費					
23	農地等災害復旧事業費	発災(市単災害)から被災農業者及び関係機関との協議実施までの期間	30日以内	3-①	—	—
24	(農集)小野地区施設維持管理費	施設の週1回の点検及び月1回の処理水の水質検査実施率	100%	3-①	—	—
25	(農集)高木地区施設維持管理費	施設の週1回の点検及び月2回の処理水の水質検査実施率	100%	3-①	—	—
26	(農集)須賀・川北地区施設維持管理費	施設の週1回の点検及び月2回の処理水の水質検査実施率	100%	3-①	—	—
評価基準…A(90%以上)、B(70~89%)、C(50~69%)、D(30~49%)、E(29%以下)						
評価理由(期末記入欄)						
*****						
*****						

その他の取組について	
取組名称	期末評価
—	—
評価基準…A(90%以上)、B(70~89%)、C(50~69%)、D(30~49%)、E(29%以下)	
評価理由(期末記入欄)	
*****	
*****	

組織マネジメントシート

宣言⑦	計画的な森林整備と森林資源の活用を図ります！	
担当	林業振興課	
『総合計画』の施策との関わり	3-③ 林業の振興	
組織紹介	<p>市内には約 42,000ha の森林があり、多くは成熟し伐採期を迎えています。森林・林業の現状は、木材価格の低迷、森林所有者の高齢化、担い手不足など厳しい状況が依然として続いています。</p> <p>このことから市では、原木の安定供給(木材生産)、森林の公益的機能(森林環境保全)、地域材の需要拡大(地域材利用)の 3 本を柱に林業振興に取り組んでいます。</p> <p>主なものとして、木材生産の面では、「林道整備交付金事業」や「いきいき松阪の森づくり事業」、森林環境保全の面では、「森林環境創造事業」や「里山の森林安全安心対策事業」、「飯南・飯高市有林再造林事業」、地域材利用の面では、「「まつさかの木」を使用したワクワク快適な家づくり事業」や「木質バイオマス有効活用対策事業」等が挙げられます。</p> <p>また、平成 29 年度新たに設置した「林業支援センター」では、林家と製材所等の連携促進の情報提供やニーズ調査等を実施することで、供給体制の強化につなげていきます。</p>	

本年度事業の活動指標と達成目標					期末記入欄	
No.	事業名	活動指標	目標	関係施策	実績	評価
1	森林環境創造事業費	「環境林づくり協定」に基づく間伐面積	50ha	3-③	—	—
2	「まつさかの木」を使用したワクワク快適な家づくり事業補助金	支援する「松阪の木」を使用した新築木造住宅数	25 棟	3-③	—	—
3	森林環境学習事業費	森林環境学習実施対象小学校数	2 校	3-③	—	—
4	里山の森林安全安心対策事業費	集落や公共施設周辺の森林間伐及び危険支障木の伐採箇所	10 箇所	3-③	—	—
5	林業労働者退職金共済掛金補助金	補助を行う飯南・飯高地域の林業事業所数	9 事業所	3-③	—	—
6	森林経営計画作成推進事業費補助金	森林経営計画作成面積	120ha	3-③	—	—
7	森林総合研究所分収造林事業費	分収造林契約団地の間伐等面積	8ha	3-③	—	—
8	木質バイオマス有効活用対策事業補助金	未利用間伐材等の運搬重量	16,000t	3-③	—	—
9	みなと森と水ネットワーク促進事業費	東京都港区での地域材の PR 活動等回数	2 回以上	3-③	—	—
10	松阪荒滝生活環境保全林管理事業費	窓口でのパンフレット配布数	100 部	3-③	—	—
11	松阪創造の森施設管理事業費	①施設内の下草刈り面積 ②作業路除草面積	①4.3ha ②0.3ha	3-③	—	—
12	松阪ちとせの森施設管理事業費	施設内の下草刈り面積(年 2 回)	0.9ha/2 回	3-③	—	—
13	緑化推進事業費	①緑化苗木等の配布自治会数 ②樹木剪定と植栽実施箇所。	①10 自治会 ②25 箇所	3-③	—	—
14	林地台帳整備事業費	林地台帳整備	73,121 筆	3-③	—	—
15	林道・作業道等維持管理事業費	林道作業道の舗装工事	2 路線	3-③	—	—

**組織マネジメントシート**

16	治山事業費	要望に基づく治山事業計画書作成	8箇所	3-③	—	—
17	林道整備交付金事業費	嬉野上小川町地内の林道トコセ線開設工事	80m	3-③	—	—
18	嬉野どんぐりの森管理事業費	施設内の下草刈り面積	1,000㎡	3-③	—	—
19	いきいき松阪の森づくり事業補助金	①境界の明確化事業への支援 ②利用間伐促進事業への支援 ③担い手育成事業への支援 ④林内路網整備事業への支援	①150ha ②15,000㎡ ③1式 ④15,000m	3-③	—	—
20	森林公園管理運営事業費	指定管理者によるイベント等実施回数	14回/年	3-③	—	—
21	森林公園施設整備事業費	井戸系統の配管洗浄及び井戸底部汚物除去	1式	3-③	—	—
22	飯高林業総合センター管理運営事業費	適正な施設維持管理等	1式	3-③	—	—
23	飯南・飯高市有林管理事業費	境界の明確化(白帯)	8団地	3-③	—	—
24	林業支援センター運営事業費	木材産業関係者への情報提供やニーズ調査等	53社	3-③	—	—
25	飯南・飯高市有林再造林事業費	皆伐跡地へ広葉樹の植林面積	12.7ha	3-③	—	—
26	林業総務一般経費	道路賠償責任保険の加入路線数	222路線	—	—	—
27	林業施設災害復旧事業費	被災林道の復旧工事に係る迅速な現場対応の実施	100%	3-③	—	—

評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)

**評価理由 (期末記入欄)**

\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*

**その他の取組について**

取組名称	期末評価
治山工事に伴う地元対応および県との連携	—

評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)

**評価理由 (期末記入欄)**

\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*



組織マネジメントシート

宣言⑧	市史跡「松浦武四郎誕生地」の保存整備を進め、生誕 200 年を迎える松浦武四郎の偉業を全国に向けて発信します！
担当	文化課
『総合計画』の施策との関わり	4-③ 文化の振興
組織紹介	<p>文化課は、市民一人ひとりの自主性、創造性が尊重される豊かな環境を整備し、新しい松阪市の文化芸術の創造をめざすとともに、長い伝統の中で洗練されてきた独自の文化の再発見や再認識、地域の歴史文化遺産の保存や活用を通じて、市民の文化に対する自信と誇りに繋がるよう取組を進めています。</p> <p>昨年度は、文化芸術の鑑賞や参加の機会の充実を図るとともに、国重要文化財「旧長谷川邸」や国史跡「松坂城跡」、市史跡「松浦武四郎誕生地」などの歴史的文化遺産について適切な整備を行いながら、歴史文化の発信拠点としての活用を進めました。</p> <p>平成 29 年度、地域づくり、まちづくりの観点から、地域振興事業、観光関連事業との連携をより促進するため、文化課は教育委員会事務局から市長部局へと移管されました。これに伴い、文化の薫り高く心豊かで潤いのある市民生活の実現をめざし、地域や文化団体等と協働しながら文化芸術活動を推進していきます。また、旧長谷川邸の保存と活用、松坂城跡の整備を引き続き進めるとともに、松浦武四郎生誕 200 年を迎える平成 30 年を全国に武四郎を広める元年と位置付け、武四郎誕生地の整備を行い、記念事業を実施するほか、北海道や三重県と連携し、積極的に情報発信を行っていきます。</p>

本年度事業の活動指標と達成目標					期末記入欄	
No.	事業名	活動指標	目標	関係施策	実績	評価
1	地域文化振興事業費	①嬉野文化祭への来場者数、おどろまいかコンテストの参加者 ②三雲文化祭への来場者数 ③飯高文化祭での他地域との交流事業件数	① <b>10%増</b> ② <b>10%増</b> ③ <b>2 件</b>	4-③	—	—
2	本居宣長記念館補助金	本居宣長記念館の年間入館者数	<b>25,000 人</b>	4-③	—	—
3	市美術展覧会開催事業費	市美術展覧会の入場者数	<b>3,500 人</b>	4-③	—	—
4	芸術文化活動奨励金・勲功賞事業費	市内各高校等へのチラシ配布数	<b>各 10 枚</b>	—	—	—
5	埴輪制作事業費	こどもハニワ展の入場者数	<b>300 人</b>	4-③	—	—
6	音楽文化活動事業費	フェスティバルへの出場者数	<b>1,300 人</b>	4-③	—	—
7	文化芸術団体共催事業費	連絡協議会 会議等の開催回数	<b>2 回</b>	4-③	—	—
8	小津安二郎青春館等管理運営事業費	青春館・資料室の年間入館者数	<b>2,500 人</b>	4-③	—	—
9	松阪市民文化会館管理運営事業費	会館利用率	<b>75%</b>	—	—	—
10	松阪コミュニティ文化センター管理運営事業費	会館利用率	<b>80%</b>	—	—	—
11	嬉野ふるさと会館管理運営事業費	市民展示ギャラリーの開設	<b>10 回</b>	—	—	—
12	嬉野ふるさと会館施設整備事業費	施設利用人数	<b>10%増</b>	—	—	—

組織マネジメントシート

13	飯南産業文化センター管理運営事業費	会館利用率	80%	—	—	—
14	飯南産業文化センター施設整備事業費					
15	文化センター自主事業費	自主事業の入場者率	100%	4-③	—	—
16	文化振興一般経費	松阪市 HP「文化情報」ページへのアクセス件数	118,265 件	—	—	—
17	文化財保存管理活用事業費	旧長谷川邸の公開日数(フリー公開)	117 日	4-③	—	—
18	殿町武家屋敷生垣等保存整備事業補助金	補助金対象件数の維持	23 件	4-③	—	—
19	無形民俗文化財保存活用補助金	補助金対象件数の維持	14 件	4-③	—	—
20	埋蔵文化財発掘調査事業費	埋蔵文化財発掘調査の年間受託件数	1 件	4-③	—	—
21	市内遺跡緊急発掘調査事業費	市内遺跡緊急発掘調査の年間調査実施件数	15 件	4-③	—	—
22	埋蔵文化財活用事業費	活用普及の啓発活動への参加者数	1,800 人	4-③	—	—
23	郷土資料室資料保存管理事業費	年間来場者数の維持	500 人	4-③	—	—
24	文化財保存整備事業補助金	補助金対象件数の維持	1 件	4-③	—	—
25	文化財センター管理運営事業費	文化財センターの年間入館者数	54,000 人	—	—	—
26	文化財センター施設整備事業費					
27	文化財センター特別企画展等事業費	はにわ館の年間入館者数	11,000 人	4-③	—	—
28	歴史民俗資料館管理運営事業費	歴史民俗資料館の年間入館者数	20,400 人	4-③	—	—
29	松阪商人の館管理運営事業費	松阪商人の館の年間入館者数	17,000 人	—	—	—
30	松浦武四郎記念館管理運営事業費	記念館の年間入館者数	12,000 人	—	—	—
31	松浦武四郎記念館特別企画展等事業費	展示室の年間展示替え回数	5 回	4-③	—	—
32	松浦武四郎記念館民俗資料収集保管事業費	害虫調査の年間実施回数	3 回	4-③	—	—
33	松浦武四郎生誕 200 年記念事業費	オープニングイベントへの入場者数	500 人	4-③	—	—
34	松浦武四郎誕生地保存整備活用事業費	平成 30 年 2 月 25 日の公開から 3 月未までの入館者数	2,000 人	4-③	—	—
35	指定文化財保存修理事業費	講座参加者の文化財修理に対する理解度(アンケート実施)	80%	4-③	—	—
36	長谷川家資料調査事業費	長谷川家資料調査委員会の開催回数	2 回	4-③	—	—
37	無形民俗文化財普及事業費	「本郷かんこ踊り展」入場者数	250 人	4-③	—	—
38	長谷川家文化財専門委員会事業費	長谷川家文化財専門委員会の開催回数	4 回	—	—	—

**組織マネジメントシート**

39	松坂城跡保存整備事業費	松坂城跡整備検討委員会の開催回数	2回	4-③	—	—
40	松阪歴史文化塾事業費	松阪歴史文化塾の開催回数	2回	4-③	—	—
評価基準…A (90%以上) 、 B (70~89%) 、 C (50~69%) 、 D (30~49%) 、 E (29%以下)						
<b>評価理由 (期末記入欄)</b>						
*****						
*****						

<b>その他の取組について</b>	
<b>取組名称</b>	<b>期末評価</b>
文化センターの施設整備を含めた今後のあり方の検討	—
松阪偉人顕彰団体との協働による郷土の偉人顕彰事業の実施	—
評価基準…A (90%以上) 、 B (70~89%) 、 C (50~69%) 、 D (30~49%) 、 E (29%以下)	
<b>評価理由 (期末記入欄)</b>	
*****	
*****	

組織マネジメントシート

<b>宣言⑨</b>	<b>市の自主財源を確保します！</b>
<b>担当</b>	競輪事業課
『総合計画』の施策との関わり	7-③ 健全な財政運営
<b>組織紹介</b>	<p>競輪事業課は、自転車競技法にもとづき、自転車等の機械振興や体育事業などの公益増進、市の自主財源確保を目的に、自転車競走を行っている組織です。</p> <p>全国の競輪車券売上額は、ピーク時の約 30%にまで落ち込んでおり、松阪競輪についても同様に約 40%にまで落ち込んでいます。</p> <p>今後においては、売上額を伸ばして市の自主財源を確保するべく、現在の包括業務委託のさらなる改善や、新たな発売方法の実現、また、より安全で集客性の高い施設への転換等、取組を進めていきます。</p>

本年度事業の活動指標と達成目標					期末記入欄	
No.	事業名	活動指標	目標	関係施策	実績	評価
1	普通競輪開催事業費	収益率(全歳入-全歳出)/全歳入	1%以上	7-③	—	—
		一般会計への繰出し	収益の4%以上			
2	日本競輪選手会三重支部補助金	選手の育成及び資質向上策の検討	—	7-③	—	—
3	スポーツ振興研修センター補助金	スポーツ振興及び市民の健康増進、市民の交流促進策の検討	—	7-③	—	—
4	包括業務委託事業費	包括業務受託事業者の定期的なモニタリングの実施	黒字の維持	7-③	—	—
評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)						
評価理由(期末記入欄)						
*****						
*****						

その他の取組について	
取組名称	期末評価
—	—
評価基準…A (90%以上)、B (70~89%)、C (50~69%)、D (30~49%)、E (29%以下)	
評価理由(期末記入欄)	
*****	
*****	